

## 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月8日  
上場取引所 東

上場会社名 双葉電子工業株式会社  
 コード番号 6986 URL <http://www.futaba.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 和伸  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務管理本部長 (氏名) 中村 正行 TEL 0475-26-0160  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	47,838	△8.4	△189	—	272	△79.7	△592	—
28年3月期第3四半期	52,217	0.3	1,009	△38.4	1,342	△68.5	164	△94.2

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 975百万円 (—%) 28年3月期第3四半期 △2,086百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株 当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△13.95	—
28年3月期第3四半期	3.78	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	145,853	128,122	81.4
28年3月期	146,312	129,238	81.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 118,747百万円 28年3月期 119,675百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	14.00	—	14.00	28.00
29年3月期	—	14.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	74.00	88.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 期末配当金の内訳 普通配当 14円 特別配当 60円

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,200	△8.1	△200	—	△100	—	△1,900	—	△44.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	43,886,739株	28年3月期	43,886,739株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	1,465,973株	28年3月期	1,085,611株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	42,474,542株	28年3月期3Q	43,545,233株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて算出しており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、当社製品の需給の急速な変動、米ドルを中心とした対円為替相場の変動および日本の証券・株式相場の変動など様々な要因により異なる場合があり得ることをご承知おきください。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(2) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内経済は、一部に改善の遅れも見られますが全体としては緩やかな回復基調が続いています。

一方、世界経済は、米国では堅調な個人消費を中心とした景気回復が続いており、新興国・資源国経済についても持ち直しの動きが見られましたが、米国新大統領の経済政策や欧州・アジア各国の動静など留意すべき点も多く、為替相場の先行きも不透明なことから、引き続き景気下振れリスクが懸念される状況が続いています。

このような状況のなか、当社グループは、電子部品事業のタッチパネルや生産器材事業のプレート製品の販売拡大に注力するとともに、その他の製品についても、売上げの拡大と収益力の改善に努めてきました。なお、生産器材事業において、海外生産拠点の最適化・合理化を図るため、中国（天津）およびインドネシアの子会社を解散することを決定しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は478億3千8百万円（前年同期比8.4%減）となりました。このうち海外売上高は303億9千5百万円（前年同期比5.5%減）となり、国内売上高は174億4千3百万円（前年同期比13.0%減）となりました。

収益面では、営業損益は1億8千9百万円の損失（前年同期は営業利益10億9百万円）、経常利益は為替差益を計上したことなどから2億7千2百万円（前年同期比79.7%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純損益は5億9千2百万円の損失（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益1億6千4百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(単位：百万円)

セグメント名称	前第3四半期連結累計期間 外部顧客への売上高	当第3四半期連結累計期間 外部顧客への売上高	増減率 (%)
電子部品事業	20,469	20,175	△1.4
電子機器事業	6,301	5,122	△18.7
生産器材事業	25,446	22,540	△11.4
合計	52,217	47,838	△8.4

① 電子部品事業

蛍光表示管は、自動車向けや音響向けなどの需要の減少傾向が続いており、また、蛍光表示管モジュールも主力のPOS用途や自動車用途向けが伸び悩んだことから、売上げは前年同期を下回りました。

有機ELディスプレイは、ウェアラブル製品向けなどの通信機器用途が落ち込んだものの、映像用途が伸びたことから、売上げは前年同期並みとなりました。

また、タッチパネルは、主力の車載用途において採用車種が順調に拡大しており、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は201億7千5百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

② 電子機器事業

ホビー用ラジコン機器は、ドローンの普及に伴う法規制強化の影響などから空物が低迷し、また、ロボット用機能部品は、主要販売先である大手パートワーク（分冊百科）販売会社向けのコマンド方式サーボの需要が一段落したことから、ともに売上げは前年同期を下回りました。

産業用ラジコン機器は、FA向けは順調に推移したものの、農業関連向けが第3四半期は回復しましたが当期累計では前年同期を下回ったことなどから、全体の売上げは前年同期並みとなりました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は51億2千2百万円（前年同期比18.7%減）となりました。

③ 生産器材事業

国内では、プレスおよびモールド金型用器材などが伸び悩んだことから、売上げは前年同期を下回りました。

海外では、主力の韓国においては、スマートフォン向けや自動車向けは依然として市場低迷の影響を受けていますが、家電向けなどがやや回復し、売上げは前年同期並みとなりました。

以上の結果、当事業の外部顧客に対する売上高は225億4千万円（前年同期比11.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ4億5千8万円減少し1,458億5千3百万円となりました。

負債は、繰延税金負債や支払手形及び買掛金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ6億5千7百万円増加し177億3千1百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の減少や自己株式の増加などにより、前連結会計年度末に比べ11億1千6百万円減少し1,281億2千2百万円となりました。この結果、自己資本比率は81.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、平成28年11月9日に公表しました連結業績予想を修正しています。

詳細につきましては、本日（平成29年2月8日）公表の「通期連結業績予想の修正および営業外収益計上に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

当社および国内連結子会社は、法人税制の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しています。なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

### （2）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しています。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	58,534	58,107
受取手形及び売掛金	18,151	17,137
有価証券	803	129
商品及び製品	4,079	3,970
仕掛品	2,810	2,721
原材料及び貯蔵品	6,812	6,742
その他	1,398	1,325
貸倒引当金	△307	△388
流動資産合計	92,282	89,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,223	13,200
機械装置及び運搬具(純額)	8,134	8,425
工具、器具及び備品(純額)	706	799
土地	17,392	17,308
リース資産(純額)	115	110
建設仮勘定	1,028	2,254
有形固定資産合計	40,599	42,099
無形固定資産		
投資その他の資産	1,030	1,066
投資有価証券	11,056	11,619
その他	1,582	1,603
貸倒引当金	△240	△280
投資その他の資産合計	12,399	12,942
固定資産合計	54,029	56,108
資産合計	146,312	145,853

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,135	5,425
未払費用	3,112	3,166
未払法人税等	400	352
賞与引当金	878	776
その他	1,562	1,878
流動負債合計	11,088	11,598
固定負債		
繰延税金負債	676	1,006
役員退職慰労引当金	91	107
退職給付に係る負債	4,953	4,776
その他	264	242
固定負債合計	5,985	6,133
負債合計	17,073	17,731
純資産の部		
株主資本		
資本金	22,558	22,558
資本剰余金	21,594	21,594
利益剰余金	82,108	80,305
自己株式	△2,080	△2,732
株主資本合計	124,181	121,726
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	833	1,480
為替換算調整勘定	△2,484	△2,210
退職給付に係る調整累計額	△2,854	△2,247
その他の包括利益累計額合計	△4,505	△2,978
非支配株主持分	9,562	9,375
純資産合計	129,238	128,122
負債純資産合計	146,312	145,853



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	52,217	47,838
売上原価	41,657	38,504
売上総利益	10,559	9,333
販売費及び一般管理費	9,550	9,522
営業利益又は営業損失(△)	1,009	△189
営業外収益		
受取利息	234	175
受取配当金	203	187
為替差益	—	115
その他	162	111
営業外収益合計	600	589
営業外費用		
貸倒引当金繰入額	△7	55
為替差損	60	—
その他	214	71
営業外費用合計	267	127
経常利益	1,342	272
特別利益		
固定資産売却益	92	11
特別利益合計	92	11
特別損失		
固定資産売却損	34	8
固定資産廃棄損	27	15
投資有価証券評価損	23	15
減損損失	208	3
災害による損失	—	14
特別退職金	—	64
特別損失合計	293	123
税金等調整前四半期純利益	1,142	161
法人税、住民税及び事業税	577	517
法人税等調整額	22	46
法人税等合計	600	563
四半期純利益又は四半期純損失(△)	542	△402
非支配株主に帰属する四半期純利益	377	189
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	164	△592

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	542	△402
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△125	599
為替換算調整勘定	△2,146	162
退職給付に係る調整額	△356	616
その他の包括利益合計	△2,628	1,377
四半期包括利益	△2,086	975
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,011	968
非支配株主に係る四半期包括利益	△74	6

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,469	6,301	25,446	52,217	—	52,217
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	3	0	3	△3	—
計	20,469	6,304	25,446	52,220	△3	52,217
セグメント利益又は 損失 (△)	△1,321	995	1,334	1,009	△0	1,009

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子部品	電子機器	生産器材	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,175	5,122	22,540	47,838	—	47,838
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	5	0	6	△6	—
計	20,175	5,127	22,540	47,844	△6	47,838
セグメント利益又は 損失 (△)	△1,510	661	660	△188	△0	△189

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。